

授 業 目 名	臨床運動性構音障害学I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年 (前 期)
担 当 教 員 名	島 本 裕 士	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	[授業概要] 運動性構音障害の評価～訓練プログラムの立案において、情報収集、検査・評価の臨床的意味や目的を理解する [学習目標] 障害の構造と検査・評価の意味、必要性を理解する 問題点の抽出と訓練へ繋げるための考え方を理解し実行できる		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	p2 オリエンテーション		
第 2 回	p4 問題点の捉え方・評価から訓練へ		
第 3 回	p7 フリートーク		
第 4 回	p13 検査結果のまとめ		
第 5 回	p15 評価用紙のまとめ及び考察まで①		
第 6 回	評価用紙のまとめ及び考察まで②		
第 7 回	p21 評価(学生から検査者選出) I-①		
第 8 回	評価(学生から検査者選出) I-②		
第 9 回	p22 評価(学生から検査者選出) I-①		
第 10 回	評価(学生から検査者選出) I-②		
第 11 回	p23 グループワークー実技練習ー①		
第 12 回	グループワークー実技練習ー②		
第 13 回	p23 実技①		
第 14 回	実技②		
第 15 回	実技③		
評 価 方 法	実技試験 60%、課題レポート 40%で評価します		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 ディサースリアの基礎と臨床 第1巻、第2巻		
履 修 上 の 留 意 点	筆記テストは予定していない、配布資料は 1 冊にまとめ、シラバスにページ番号を記載した		
メ ッ セ ー ジ	1 年次のディサースリアの知識はあるものとして授業を行います。 グループでのレポート作成やディスカッションがメインとなります。		